KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネントシステム

C-414

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

もくじ

安全上のご注意 …… 3

お使いになる前に

付属品について …… 7
設置するときは …… 8
保管とお手入れ …… 9
接続のしかた …… 10
　基本接続 …… 10
　他の機器（市販品）との接続 …… 12
各部のなまえと働き …… 14
リモコンを準備する …… 16

音楽を聞く

基本的な使いかた …… 18
CD/USB/SDを再生する …… 20
　曲を聞く …… 20
　プログラムモードで再生する …… 20
iPod/iPhoneを再生する …… 22
　iPod/iPhoneを取り付ける …… 22
　曲を聞く …… 22
ラジオ放送を聞く …… 24
　ラジオ放送を聞く …… 24
　放送局を自動でメモリーさせる（オートプリセット） …… 24
　モノラルモード（ステレオ/モノ） …… 24
　放送局を手動でメモリーさせる（マニュアルプリセット） …… 25
　メモリーした放送局を削除する …… 25
デジタルオーディオプレーヤーを再生する… 26
　曲を聞く …… 26
外部機器を再生する …… 27
　外部機器を再生する …… 27

好みの音を作る

音質を調整する …… 28
　低音を強調する（D-BASS） …… 28
　サラウンドで音楽を楽しむ（SOUND） …… 28
　音質を変更する（EQ） …… 28

もっと使いこなす

本機の設定を変更する …… 29
　時計を設定する（CLOCK） …… 29
　スリープタイマーを設定する（SLEEP） …… 29
　プログラムタイマーを設定する（TIMER） …… 30
　ディスプレイの明るさを設定する（BACKLIGHT） …… 31
　ディスプレイの表示濃度を調整する（CONTRAST） …… 31
　省エネモードを設定する（A.P.S.） …… 32

メンテナンス

知っておいていただきたいこと …… 33
故障かな？と思ったら …… 38
用語集 …… 40
メッセージ表示一覧 …… 40
保証とアフターサービス …… 41
ケンウッド全国サービス網 …… 42
定格 …… 43

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

安全上のご注意

⚠警告

異常のときは

異常が起きた場合は AC アダプターを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜き電池を取り出す。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

AC アダプターの電源プラグは交流 100 ボルトに接続する

この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

お手入れ

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

⚠注意

異常のときは

落としたらACアダプターを抜く

ACアダプターや機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードおよびACアダプターを熱器具に近づけない

電源コードおよびACアダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。ケースやコードの被服が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

設置について

温度の高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

注意

使用について

長期間使用しないときは AC アダプターを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

機器や AC アダプターのケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池について

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

・極性表示（プラス"＋"とマイナス"－"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
・指定の電池を使用する。
・使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
・違う種類の電池を混ぜて使用しない。
・充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
・電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

音量について

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

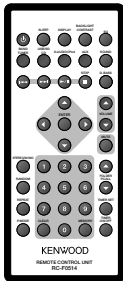
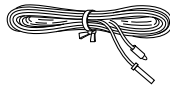
定期的に内部の点検、清掃をする

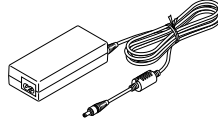
3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検､清掃をお勧めします。販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。

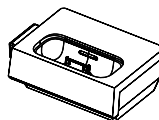
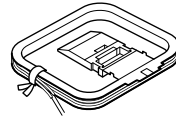
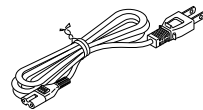
内部にほこりのたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

付属品について

付属品

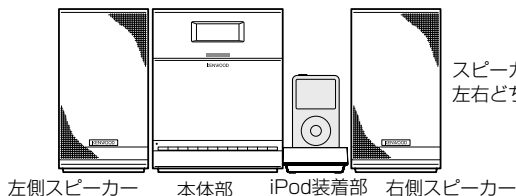
リモコン
（RC-F0514：1個）

FM室内アンテナ
（1個）

AMループアンテナ
（1個）

ACアダプター
（AC-18335A：1個）

電源コード
（1本）

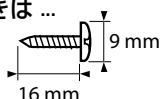
iPod装着部
（1個）

スタンド（金具/ビス/説明書: 各1）

設置するときは

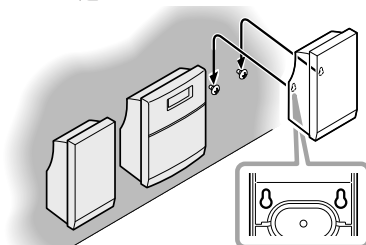
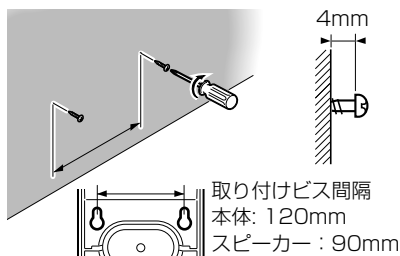
本機を設置するときのご注意

- 本機を使用するときは、本体背面に付属のスタンドを取り付けます。取り付け方法は、「付属のスタンドを取り付けるには...」をご覧ください（壁掛けで使うときは取り外します）。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

スピーカーは左右とも同じ物です。
左右どちらにでも設置できます。

本体部、スピーカーを壁掛けで使うときは ...

壁掛けには、市販の木ネジを用意します。

❶ 壁掛け用穴に合わせて木ネジを安定した柱や壁に取り付ける。

❷ 本体またはスピーカー背面の壁掛け用穴にネジをはめ込む。

取り付けビス間隔
本体: 120mm
スピーカー：90mm

- 本体背面からの放熱のため、壁の材質によっては変形または変色することがあります。
- 壁掛けの時は、iPodの装着部は本体部に取付しないでください。落下する恐れがあります。

⚠ 注意

機器およびACアダプターを設置するときは、以下のことをお守りください。放熱が十分でないと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しないでください。
- 布をかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 機器の上面から、50cm以上スペースを空けてください。

壁掛けで使うときは、以下のことをお守りください。製品が落下して破損やケガの原因になります。

- 設置する前に壁などの強度を確認してください。ベニア板、石膏ボードなどに取り付けないでください。強度等、不明な点がありましたら、専門業者にご相談ください。
- 本体、スピーカーの取り付け穴にネジが確実に固定されていることを確認してください。
- 設置後も、不意な接触などで落下するおそれがありますので、ご注意ください。

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

音響効果を楽しんでいただくために

スピーカーの配置によって音は変化します。よりよい音質をお楽しみいただくために、下記を参考にしてください。

- 左右のスピーカーの周囲の環境をできるだけ同じにする。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 鑑賞時の耳の位置と同じ高さに設置する。

保管とお手入れ

次のような場所に置かないでください。

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

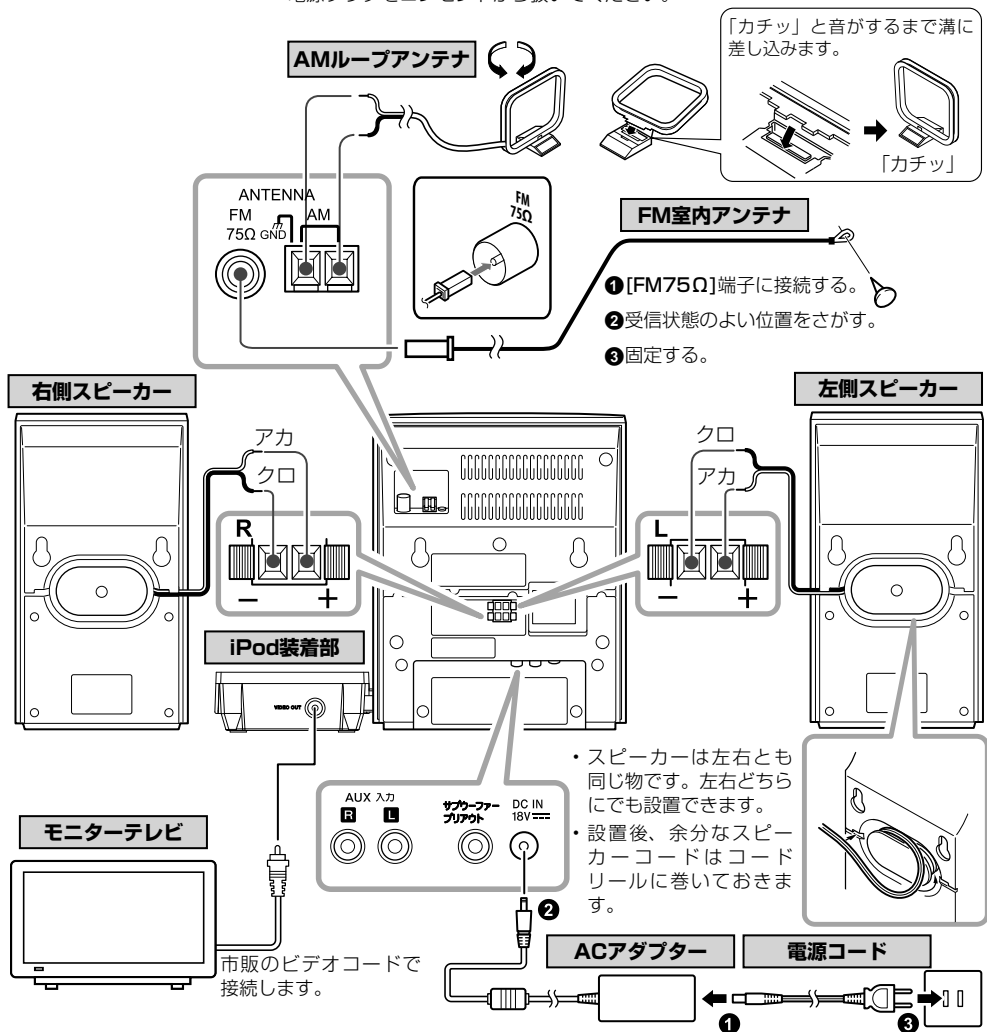
著作権について

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

接続のしかた

基本接続

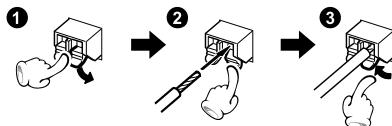
接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

・この製品には、付属の電源コードおよびACアダプター「AC-18335A」（JEITA 規格·極性統一形プラグ付き）をご使用ください。
・付属の電源コードおよびACアダプターを他の機器で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、ACアダプター、電源コードからできるだけ離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

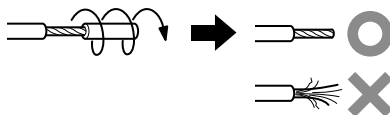
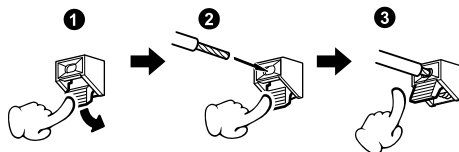
・**アンテナコードの取り付けかた**
AMアンテナコードを右記のようにして、[AM]と[⏚GND]端子に接続します。

FM室内アンテナの接続

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続する場合には、簡易アンテナは取り外してください。

⚠ 屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

スピーカーの接続

・**スピーカーコード先端の処理のしかた**
コード先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

・**本体へのスピーカーコードの取り付けかた**
スピーカーコードのむき出している先端部分をしっかりと差し込んでください。

⚠ 注意

付属のスピーカー以外は接続しないでください。
他のスピーカーを使用すると故障の原因となることがあります。

・スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください（+と－のコードを接触させないでください)。極性＋と－を間違えて接続すると、楽器などの音源位置がはっきりしない不自然な音になります。

接続のしかた

他の機器（市販品）との接続

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 接続コードはすべて確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

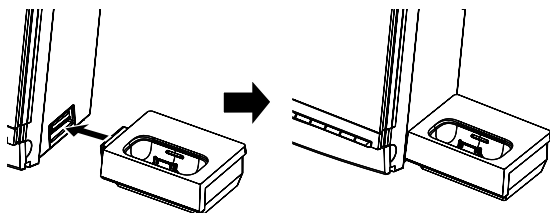
接続は必ずスタンバイ状態時に行い、接続が終了するまで電源をONにしないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにしてから抜いてください。

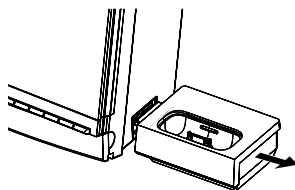
iPod/iPhone (iPod/iPhone装着部)

iPod装着部を取り付ける

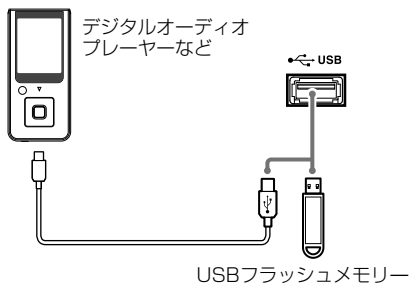
本体右側に付属のiPod装着部を取り付けます。

本体の電源をOFFにしてから、iPod装着部を本体の装着端子に奥まで差し込みます。

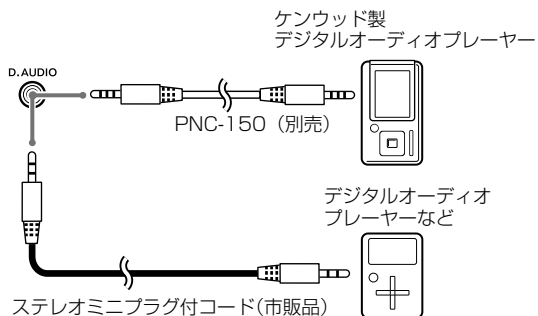
iPod/iPhoneの取り付けは「iPod/iPhoneを取り付ける」（22ページ）をご覧ください。

iPod装着部を取り外す

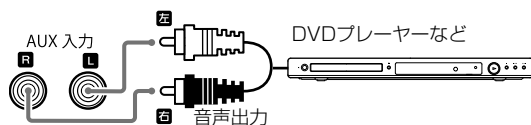
本体の電源をOFFにしてから、iPod装着部を取り外します。

•⊂USB (USB機器接続端子)

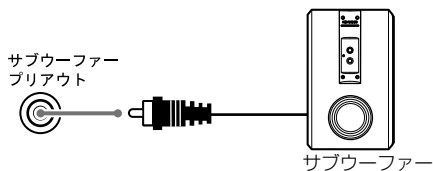
USBフラッシュメモリーやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを、本体前面部の[•⊂USB]端子に接続します。

- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。
- USBハブなどを介してUSB機器を認識させることはできません。

D.AUDIO (D.AUDIO入力端子)

デジタルオーディオプレーヤー本体前面部の**[D.AUDIO]**端子に接続します。

- デジタルオーディオリンク対応プレーヤー（ケンウッド製）を専用ケーブルPNC-150（別売）で接続すると、本機やリモコンを使って操作できます。
- その他のデジタルオーディオプレーヤーは、φ3.5mm ステレオミニプラグ付ケーブル（市販品）を使って接続します。
- お使いにならないときは、ケーブルを本体から抜いてください。

AUX 入力 (外部入力端子)

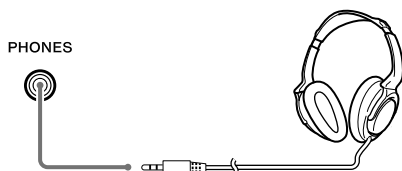
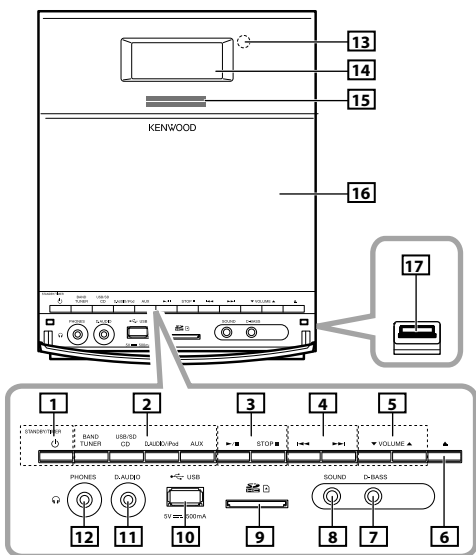
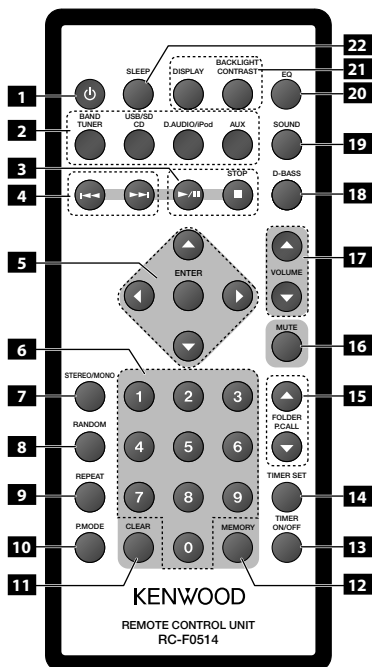
DVDプレーヤーなどの音声出力端子を本体背面部の**[AUX 入力]**端子にピンプラグ付ステレオコードで接続します。

サブウーファープリアウト

サブウーファー [アンプ内蔵型:SW-40HT（別売）など] を本体背面部の**[サブウーファープリアウト]**端子にピンプラグ付コードで接続します。

PHONES (ヘッドホン端子)

φ3.5mm ステレオミニプラグ付のヘッドホンを本体前面部の**[PHONES]**端子に接続します。

ヘッドホンを接続すると、スピーカーから出る音は消音されます。

各部のなまえと働き

本体部

リモコン部

1 1 ⏻（電源）

- 電源のON/OFF（スタンバイ）を切り替えます。

STANDBY/TIMERインジケーター

- 赤色:スタンバイ状態
- 橙色:タイマースタンバイ状態

2 2 音源切り替え

TUNER/BAND

- 音源を[FM]➡[AM]の順に切り替えます。

CD/USB/SD

- 音源を[CD]➡[USB]➡[SD]の順に切り替えます。

D.AUDIO/iPod

- 音源を[D.AUDIO]➡[iPod]の順に切り替えます。

AUX

- 音源を[AUX]に切り替えます。

3 3 ►/II

- CD/USB機器/SD/iPod/D.AUDIOの再生/一時停止をします。

STOP ■（停止）

- CD/USB機器/SD/D.AUDIOの再生を停止します。

4 4 I◄◄/►►I

- 曲をスキップします。
- 押し続けると曲を早送り、早戻しします。
- ラジオを聞いているときは、放送局を選びます。

5 ▲ / ▼ / ◄ / ►（マルチコントロール）

- 各種設定を選びます。

ENTER

- 項目を決定します。

6 数字（0—9）

- 曲や放送局を選びます。

7 7 STEREO/MONO

- FMラジオのステレオ/モノを切り替えます。

8 RANDOM

- 曲を順不同に再生します。

9 REPEAT

- 曲を繰り返し再生します。

10 P.MODE

- プログラムモードに切り替えます。

11 **CLEAR**

● プログラムした曲やプリセットした局の設定を削除します。

12 **MEMORY**

● 放送局を自動または手動でメモリーします。

13 **TIMER ON/OFF**

● 設定したプログラムタイマーをON/OFFします。

14 **TIMER SET**

● 時計を設定します。
● プログラムタイマーを設定します。
● A.P.S.(オートパワーセーブ)を設定します。

15 **FOLDER/P.CALL ▲/▼**

● フォルダを選択します。
● ラジオを聞いているときは、放送局を選びます。

16 **MUTE**

● 音量を一時的に消音(ミュート)します。

17 5 **VOLUME ▲/▼ (音量調整)**

● 音量を調整します。▲を押すと音量が上がり、▼を押すと音量が下がります。

18 7 **D-BASS**

● 低音域の音量を強調します。

19 8 **SOUND**

● DTS Envelo Speaker™ を設定します。

20 **EQ**

● ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。

21 **DISPLAY**

● ディスプレイの表示内容を切り替えます。

BACKLIGHT/CONTRAST

● ディスプレイの照明、イルミネーションを切り替えます。ディスプレイの表示濃度を調節します。

22 **SLEEP**

● スリープタイマーを設定します。

6 **▲ (ドアの開閉)**

● CDドアを開閉します。

9 **SDカードスロット**

10 **USB(USB機器接続端子)**

11 **D.AUDIO(D.AUDIO入力端子)**

12 **PHONES (ヘッドホン端子)**

● ステレオミニプラグ付のヘッドホンを接続します。

13 **リモコン受光部**

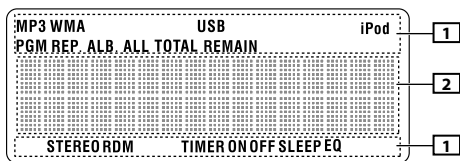
14 **表示部(ディスプレイ)**

15 **イルミネーション**

16 **CDドア**

17 **iPod装着部取付端子**

● 付属のiPod装着部を取り付けます。(12ページ)

ディスプレイ部

1 再生しているオーディオファイルの種類や接続機器の表示、音質調整などが設定されると点灯します。

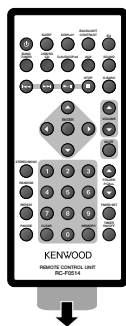
MP3：MP3ファイル
WMA：WMAファイル
USB：USB機器接続
iPod：iPod接続
PGM：プログラム再生モード
REP：リピート再生モード
ALB：アルバム選択モード
ALL：全曲リピート再生モード
TOTAL：トータル時間
REMAIN：残り時間
STEREO：ステレオモード
RDM：ランダム再生モード
TIMER：プログラムタイマー
ON：タイマー開始時間
OFF：タイマー終了時間
SLEEP：スリープタイマー
EQ：イコライザー、D-BASS（低音強調）

2 数字および文字情報を表示します。

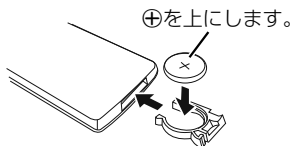
• 本文中のディスプレイ表示は実際の表示と異なる場合もあります。

リモコンを準備する

絶縁シートを取り外す

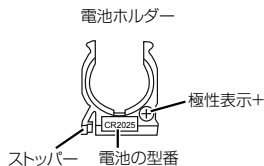
絶縁シートを矢印の方向に引き抜いてください。

電池を交換するときは

1. ストッパーを横に押しながら、電池ホルダーを引き出します。

2. 電池ホルダーにリチウムボタン電池を入れて、ホルダーを元に戻します。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 電池ホルダーを引き出すときに、つめを痛めないように注意してください。

電池について

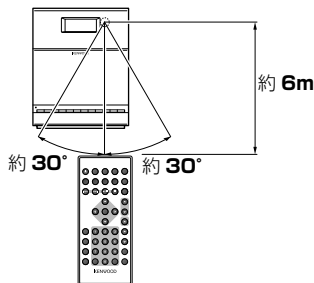
電池を交換する場合は、必ず指定の型番の電池をお使いください。

使用電池：3Vリチウムボタン電池　CR2025

⚠ 注意

- リチウム電池は正しい取り扱いを行わない場合、火災を起こしたり、化学物質で皮膚をおかされることがあります。幼児には触れさせないように十分ご注意ください。また、分解や充電、焼却を行ったり、100度以上の熱を与えないようにしてください。電池を交換する場合は、必ず指定の型番の電池をお使いください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 電池を直射日光（炎天下）や火のそばなど高温となる場所に置かないでください。発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの**[⏻]電源**を押すと、電源がONになります。

電源をONしたら、操作したいボタンを押します。リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

スタンバイ状態について

本機の[STANDBY/TIMER]インジケーターが点灯中は、マイコン動作のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。この状態のとき、リモコンで本機の電源をONにできます。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、音源切り替えボタンを押すと本機の電源がONになります。

リジューム機能について

CD、USB、SDなどの曲を再生中に停止し、再度[►/II]を押すと再生していた曲の先頭から再開します。

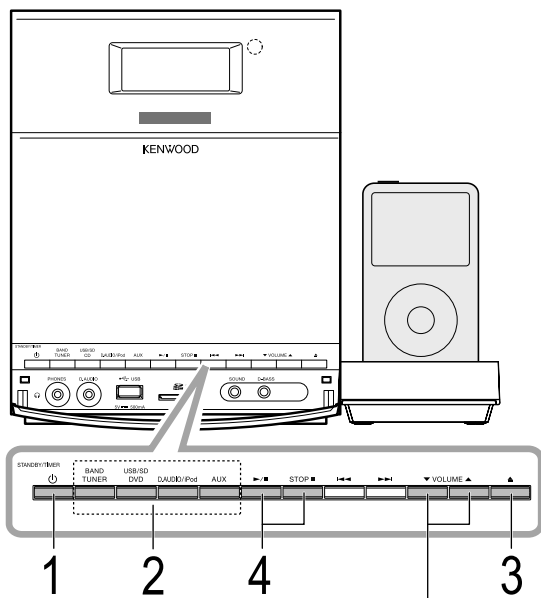
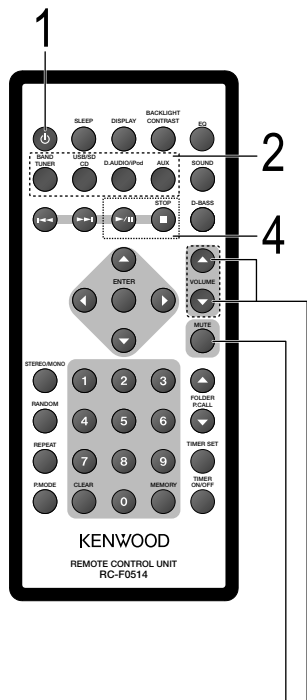
本機の誤作動について

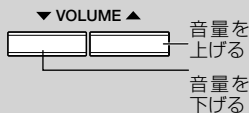
正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合は本機をリセットしてください。（39 ページ）

基本的な使いかた

本体による操作です。
この表記がある場合は、本体のボタンを押してください。

リモコンによる操作です。
この表記がある場合は、リモコンのボタンを押してください。

両方が表記されている場合は、リモコン、本体のどちらでも操作ができます。

音量を調節する

[VOLUME]で調節する。

0（MIN）～40（MAX）の間で調節できます。

一時的に消音（ミュート）する

[MUTE] を押す。

"MUTE"が表示されます。

■ ミュート解除するには ...

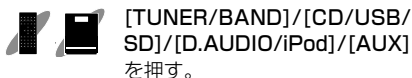
もう一度 [MUTE] を押す。（もとの音量に戻ります）または音量の調節をする。

1 電源をONにする（OFFにする）

［⏻］**電源**を押す。

・電源がONのときに［⏻］**電源**を押すとOFF（スタンバイ状態）になります。

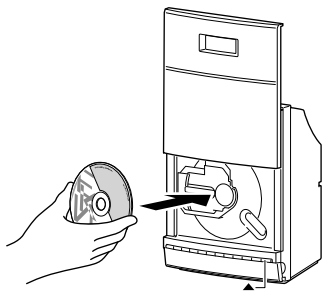
2 音源を切り替える

各音源の音源切り替えボタンを押す。

［TUNER/BAND］/［CD/USB/SD］/［D.AUDIO/iPod］/［AUX］を押す。

3 再生する音源をセットする

ディスクを入れる場合

［⏏］を押す。"DOOR OPEN"と表示されドアが開きます。

レーベル面を手前にして、ディスクをセットします。［⏏］を押してドアが閉まると"READING"と表示されます。

■ ディスクを取り出すには ...

［⏏］を押す。"DOOR OPEN"と表示されドアが開きます。

USB機器を挿し込む場合

挿し込む方向に注意して確実に挿し込んでください。(12ページ) USB機器を接続すると、"READING"と表示され"**USB**"が点灯します。

■ USB機器を取り外すには ...

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからUSB機器を引き抜きます。

SDを入れる場合

SDカードをSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

SD カードのラベル面を上にして、カットされた部分が右になるように入れます。

■ SDカードを取り出すには...

停止後、本機をスタンバイ状態にしてから指を添えたままSDカードを押してポップアップしたら引き抜きます。

iPod/iPhoneを装着する場合

iPod/iPhoneをiPod装着部に装着します。(22ページ) "**iPod**"が点灯します。

■ iPod/iPhoneを取り外すには ...

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからiPod/iPhoneを取り外します。

4 再生する

［►/II］を押す。

■ 停止するには ...

再生中に［STOP■］を押すと停止します。

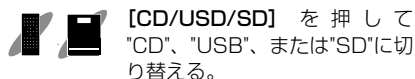
CD/USB/SDを再生する

CDの曲やCD-ROM/CD-R/CD-RW、USB機器、SDカードの曲（オーディオファイル）を再生します。

- 再生できる曲（オーディオファイル）については「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。(34ページ)

曲を聞く

1 音源を切り替える

[CD/USD/SD] を押して"CD"、"USB"、または"SD"に切り替える。

2 再生する音源をセットする

各音源のセットのしかたは「基本的な使いかた」をご覧ください。(18ページ)

3 再生する

[►/II] を押す。

CDのときは最初の曲から再生します。

オーディオファイルのときは、フォルダやオーディオファイルを検索して最小ファイルナンバーの曲から再生を開始します。

- 複数のフォルダやオーディオファイルがある場合の再生の順番については、「フォルダやオーディオファイルの再生順について」をご覧ください。(35ページ)

- 再生可能なオーディオファイルがないときは、再生は開始されません。
- デジタルHDDオーディオプレーヤーを接続した場合は、HDDシステム上、一時停止から再生開始したときに音切れが発生する場合があります。

プログラムモードで再生する

曲を好きな順番で聞くことができます。

- 音源をCD、USB、またはSDに切り替え、停止しておきます。

1 "PGM"（プログラム再生モード）を選ぶ

[P.MODE] を押す。

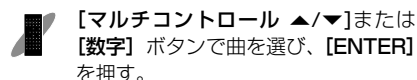
押すたびに再生モードが切り替わります。

PGM 点灯　**プログラム再生モード**

▼▲

消灯　通常の再生モード

2 選曲する

[マルチコントロール ▲/▼]または**[数字]** ボタンで曲を選び、**[ENTER]**を押す。

入力を間違えたときは、**[ENTER]**を押す前に**[CLEAR]**を押して、再度入力しなおします。

- 30曲まで続けて選曲できます。

3 再生する

[►/II] を押す。

■ **プログラムしたファイルを取り消すには ...**
再生を停止してリモコンの **[CLEAR]** を押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に1つずつ取り消されます。

■ **後から曲を追加するには ...**
再生中は、停止してから手順2を操作します。

■ **プログラムモードを解除するには ...**
再生を停止し、**[P.MODE]** を押して通常の再生モードを選びます。設定したプログラムは消去されます。

- 音源を取りはずしたり電源をOFFすると、設定したプログラムは消去されます。

再生中 / 停止中のボタン操作一覧

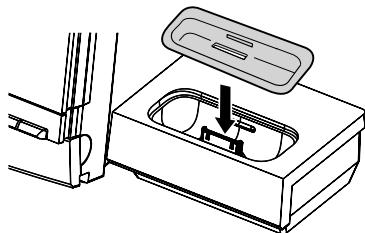
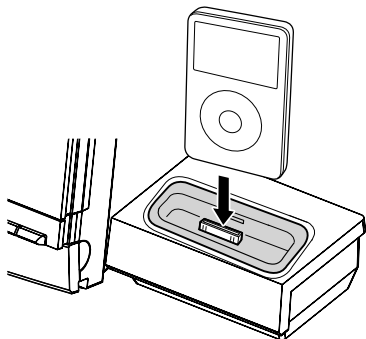
動 作	操 作
ディスプレイの表示切り替え	再生中に［DISPLAY］を押す。 押すたびに表示情報が切り替わります。 CD の場合 T01 11:15（再生中の曲の経過時間）▶ REMAIN（再生中の曲の残り時間）▶ TOTAL（CD 全体の経過時間）▶ TOTAL REMAIN（CD 全体の残り時間） オーディオファイルの場合 T01 11:15（再生中の曲の経過時間）▶ FOLDER.. FILE..（フォルダ名 ファイル名）▶ TAG information（タグ情報）▶ F001 T003（フォルダ No. ファイル No.）
停止	再生中に［STOP■］を押す。
一時停止	再生中に［►/II］を押す。 再度押すと解除します。
選曲	**［数字］ボタン**で選曲し［ENTER］を押す。 **曲番号の指定方法**：7 曲目→［7］を押す。 12 曲目→［1］、［2］を押す。 103 曲目→［1］、［0］、［3］を押す。
フォルダの選択*	［FOLDER/P.CALL ▲/▼］を押す。
早送り/早戻り	再生中に［I◄◄］/［►►I］を押し続ける。再生するときは［►/II］を押す。
曲のスキップ	［►►I］を押す。
前の曲へ戻る	［I◄◄］を連続して2回以上押す。
曲の頭出し	［I◄◄］を1回押す。
ランダム再生（順不同に聞く）	［RANDOM］を押す。 押すたびに切り替わります。 RDM 点灯（ランダム再生します。）▶ 消灯（ランダム再生を解除します。）
リピート再生（繰り返し聞く）	［REPEAT］を押す。 押すたびに切り替わります。 REP. 点灯（1曲だけリピート再生します。）▶ REP. ALB* 点灯（アルバムの曲をリピート再生します。）▶ REP. ALL 点灯（全曲リピート再生します。）▶ 消灯（リピート再生を解除します。）

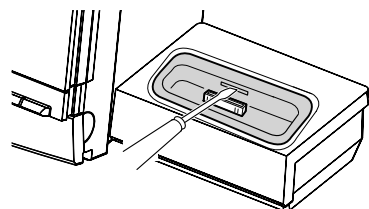
* オーディオファイルのみ

iPod/iPhoneを再生する

iPod/iPhoneを取り付ける

1 Dockアダプターを取り付ける

iPodに付属、または市販のDockアダプターを本機に取り付けます。Dockアダプターのスリットがある側を奥にして、カチッと音がするまで押し込みます。

2 iPod/iPhoneを取り付ける

■ **Dockアダプターを取り外すには ...**

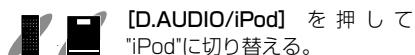
Dockアダプターのスリッドに、マイナスドライバーなどを差し込んで上に引き上げて取り外します。

iPodやiPhoneを接続して、曲を再生します。

- 接続できるiPodについては「iPod/iPhoneの取り扱い」をご覧ください。(37ページ)

曲を聞く

本機やリモコンでiPod/iPhoneを操作します。

1 音源をiPodに切り替える

[D.AUDIO/iPod] を押して"iPod"に切り替える。

2 iPod/iPhoneを接続する

iPod装着部にiPod/iPhoneを取り付けます。

接続すると、"**iPod**"が点灯しiPod/iPhoneを再生します。

■ **再生しないときは ...**

[►/II] を押す。

- iPod/iPhoneにカバーやケースなどのアクセサリーを付けたまま本機に取り付けることはできません。必ず取り外してください。
- Dockアダプターを取り付けないで本機にiPod/iPhoneを接続すると、コネクタ部が劣化または破損するおそれがあります。必ずDockアダプターをご使用ください。
- iPod/iPhoneの抜き差しは、まっすぐ、ていねいに行ってください。
- 本機の電源がONのときは、iPod/iPhoneを取り付けるとiPod/iPhoneの充電をすることができます。
- iPod/iPhoneを取り付け、または取り外しする前に、必ず接続するオーディオ機器の音量を小さくしてください。
- 本機へ接続している間は、iPod/iPhoneで設定した音量は無効になります。
- 再生中はiPod/iPhoneを取り外さないでください。故障の原因となります。
- iPod/iPhoneのモデルによっては、操作できない機能があります。

再生中 / 停止中のボタン操作一覧

動 作		操 作
メニュー画面の呼び出し/選択		[◀] を押す。メニュー画面を呼び出します。 [▲] / [▼] を押して項目を選択して [ENTER] で決定します。
一時停止		再生中に [▶/II] を押す。 再度押すと解除します。
アルバムのスキップ		[FOLDER/P.CALL ▲/▼] を押す。
早送り/早戻り		再生中に [I◀◀] / [▶▶I] を押し続ける。
曲のスキップ		[▶▶I] を押す。
前の曲へ戻る		[I◀◀] を連続して2回以上押す。
曲の頭出し		[I◀◀] を1回押す。
ランダム再生（順不同に聞く）		[RANDOM] を押す。押すたびにiPod/iPhoneの再生モードが切り替わります。
リピート再生（繰り返し聞く）		[REPEAT] を押す。押すたびにiPod/iPhoneの再生モードが切り替わります。

■ 前のアルバム/次のアルバムの曲を聞くには ...

- iPod (nano第4世代、Classicなど)は...

  iPod 本体を操作して、アルバム、アーティストなどから " 全曲 / すべて " を選択して再生する。

- iPod touch/iPhone は ...

  iPod touch/iPhone 本体を操作して、トラックリスト表示画面で、曲を選択する。

ラジオ放送を聞く

FM/AMの放送局を選んで聞きます。

ラジオ放送を聞く

1 "FM"または"AM"に切り替える

[TUNER/BAND] を押す。

押すたびに受信バンドが切り替わります。

TUNER FM　FMバンド

▼▲

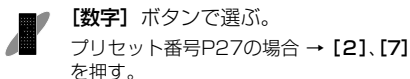
TUNER AM　AMバンド

2 放送局を選ぶ

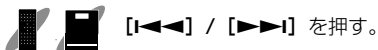
メモリーした放送局から選ぶ場合(プリセットコール)

メモリーした放送局をプリセット番号をFM（P01 ～ P30）/AM（P01 ～ P10）から選びます。

[FOLDER/P.CALL ▲/▼]を押す。

- ボタンを押し続けるとプリセット番号を約0.5秒の間隔で切り替えることができます。
- プリセット番号を直接入力することもできます。

[数字] ボタンで選ぶ。
プリセット番号P27の場合 → **[2]**、**[7]** を押す。

メモリーしていない放送局から選ぶ場合

放送局を選びます。

[I◀◀] / [▶▶I] を押す。

- ボタンを押し続けると放送局を自動受信します。

- 選局中は音が出ません。
- ステレオ受信すると"**STEREO**"が点灯します。

放送局を自動でメモリーさせる（オートプリセット）

受信状態の良い放送局を自動的に選び、放送局をメモリーします。

- 音源をFMまたはAMに切り替えておきます。

1 オートプリセットを設定する

[MEMORY] を押し続ける。

受信状態が良い放送局がメモリーされます。放送局がメモリーされると、プリセット番号P01を受信した状態になります。

モノラルモード（ステレオ/モノ）

FMステレオ放送の受信状態の良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが軽減されて聞きやすくなります。

1 "STEREO"または"MONO"に切り替える

[STEREO/MONO] を押す。

押すたびに受信モードが切り替わります。

STEREO　ステレオモードで受信します。

▼▲

MONO　モノラルモードで受信します。

放送局を手動でメモリーさせる（マニュアルプリセット）

受信中のFM/AM放送局をプリセット番号を指定してメモリーします。すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

• FM 30局、AM 10局分の放送局をメモリーできます。

1 メモリーしたい放送局を受信する

2 受信した放送局を確定する

［MEMORY］を押す。

3 メモリーさせたいプリセット番号をFM（P01 ～ P30）/AM（P01 ～ P10）を選ぶ

[FOLDER/P.CALL ▲/▼]を押す。

• プリセット番号を直接入力することもできます。

［数字］ボタンで選ぶ。
プリセット番号P27の場合 → ［2］､［7］を押す。

4 放送局をメモリーさせる

［ENTER］を押す。

• 続けて記憶させたいときは、手順1 ～ 4を繰り返します。

• プリセットしても電波状況が悪い場合は受信できません。

メモリーした放送局を削除する

メモリーされている放送局のプリセット番号を指定して削除します。

• 音源をFMまたはAMに切り替えておきます。

1 削除したい放送局をプリセット番号から選ぶ

[FOLDER/P.CALL ▲/▼]を押す。

• プリセット番号を直接入力することもできます。

［数字］ボタンで選ぶ。
プリセット番号P11の場合 → ［1］､［1］を押す。

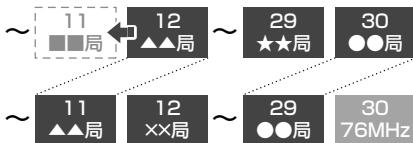
2 削除したいプリセット番号を再確認する

［CLEAR］を押す。

3 削除する

"CLEAR?"と表示されている間に［ENTER］を押す。

選択した放送局は削除されます。削除したプリセットチャンネル以降は前に詰められます。

例）プリセット11の■■局を消した場合

空いてしまうプリセット番号には自動的にFM76MHz、AM531kHzが記憶されます。

音楽を聞く

デジタルオーディオプレーヤーを再生する

本機に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生します。

- 接続可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーについては「D.AUDIOの取り扱い」をご覧ください。（36ページ）

曲を聞く

1 機器を接続する

[D.AUDIO]入力端子に別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）で接続すると、本機やリモコンで機器を操作できます。（13 ページ）

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

2 音源を"D.AUDIO"に切り替える

[D.AUDIO/iPod] を押して"D.AUDIO"に切り替える。

3 接続した機器の電源を入れ、再生する

再生中/停止中のボタン操作一覧

動 作	操 作
停止	再生中に [STOP■] を押す。
一時停止	再生中に [►/II] を押す。 再度押すと解除します。
フォルダのスキップ	[FOLDER/ P.CALL ▲/▼] を押す。
早送り/早戻り	再生中に [I◄◄] / [►►I] を押し続ける。
ファイルのスキップ	[►►I] を押す。
前のファイルへ戻る	[I◄◄] を連続して2回以上押す。
ファイルの頭出し	[I◄◄] を1回押す。

- 接続した機器によっては操作できないものもあります。

外部機器を再生する

本機に外部機器をAUX入力に接続して再生します。

外部機器を再生する

1 外部機器を接続する

本体背面の**[AUX 入力]**端子に外部機器を接続します。（13ページ）

- 接続する外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 本機と外部機器の電源を必ずOFFにして接続してください。

2 音源を"AUX"に切り替える

[AUX] を押す。

3 接続した外部機器を再生する

音楽を聞く

音質を調整する

低音を強調する（D-BASS）

好みに合わせて、低音域の音量を強調します。

1 D-BASSを選ぶ

[D-BASS]を押す。

2 好みのレベルに調整する

[マルチコントロール ▲/▼]で選択し[ENTER]を押す。

[I◄◄] / [►►I] を押す。

一段階ごとにレベルが調整できます。

表示	内容
D-BASS 1～10	低音域が強調されます。
▼▲	
D-BASS OFF	D-BASSをOFFします。

D-BASSが設定されると"**EQ**"が点灯します。

- イコライザーを設定するとD-BASSはOFFに切り替わります。

サラウンドで音楽を楽しむ(SOUND)

DTS Envelo Speaker™ を設定すると3次元サラウンドで臨場感のある音楽を楽しむことができます。

1 SOUNDを選ぶ

[SOUND]を押す。

押すたびに次の順で切り替わります。

表示	内容
DTS Envelo OFF	サラウンドを、OFFします。
▼▲	
DTS Envelo ON:1	サラウンドを、ONします。
▼▲	
DTS Envelo ON:2	さらに効果を強調します。

SOUNDが設定されると"**DTS**"と表示します。

- イコライザーを設定するとサラウンドはOFFに切り替わります。
- ヘッドホンを接続するとサラウンドはOFFに切り替わります。

音質を変更する（EQ）

ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。

1 EQを選ぶ

[EQ]を押す。

押すたびに次の順で切り替わります。

イコライザーが設定されると"**EQ**"が点灯します。

- D-BASSを設定するとイコライザーはFLATに切り替わります。

本機の設定を変更する

時計を設定する（CLOCK）

本機の時間を設定します。

1 タイマーセットモードにする

[TIMER SET] を押す。

2 "CLOCK"を選択する

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し
[ENTER]を押す。

3 "CLOCK SETTING"を確定する

[ENTER] を押す。

4 時、分を設定する

時、分の順に設定します

**[マルチコントロール ▲/▼]で
選択し[ENTER]を押す。**

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットモードを終了します。

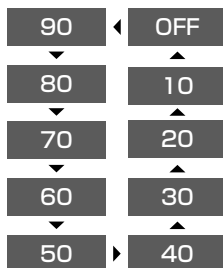
- 電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度、時計を設定してください。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

スリープタイマーを設定する（SLEEP）

音源を聞いている最中や聞く前に、スリープタイマー (10分から最大90分まで)を設定すると、設定時間後に再生を終了して自動的に電源をOFFします。

1 スリープタイマーを設定する

[SLEEP] を押す。

押すたびに設定時間が切り替わります。

SLEEP 30　スリープタイマーを30分に設定した場合。

スリープタイマーが設定されると"**SLEEP**"が点灯します。

■ **設定後、スリープタイマーの残り時間を確認するには ...**

[SLEEP] を押す。

SLEEP 18　タイマーの残り時間を3秒間表示します。

[SLEEP]を押すと、残りの時間を起点としてスリープタイマーの設定を行うことができます。

プログラムタイマーを設定する（TIMER）

プログラム予約によって指定した時間に、ラジオ放送やCD、SD、USB機器などを聞くことができます。

プログラムは１つ設定可能です。

- 時計を正確な時間に合わせておいてください。「時計を設定する（CLOCK）」をご覧ください。（29ページ）

1 タイマーセットモードにする

[TIMER SET] を押す。

2 "TIMER"を選択する

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し[ENTER]を押す。

3 プログラム項目を選び決定する。

時刻、音源、音量の順に設定します

[マルチコントロール ▲/▼]で選択し[ENTER]を押す。

項目	説明
ON TIME	開始時刻を選ぶ。"**TIMER ON**"が点滅します。
▼	
OFF TIME	終了時刻を選ぶ。"**TIMER OFF**"が点滅します。
▼	
SOURCE	音源を選ぶ。CD、USB、SD、iPod、FM、AMから選択します。ラジオ（FM,AM）のときは、プリセット番号を選択します。
▼	
VOLUME	再生する音量を選ぶ。

■ **設定項目を移動するときは ...**

[マルチコントロール ◀/▶]を押す。

タイマー動作モードを設定します

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し[ENTER]を押す。

モード	説明
PLAY	VOLUMEで設定した音量で再生します
▼▲	
AI PLAY	AI PLAYを実行します。

AI PLAYのときはVOLUMEで設定した音量値まで徐々に上げていきます。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットモードを終了します。

プログラムタイマーが設定されると"**TIMER**"が点灯します。

4 電源をOFFにする

[⏻] **電源**を押す。

STANDBY/TIMERインジケータが橙色に点灯します。

- タイマー動作中は"TIMER"が点滅します。
- 電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度、時計を設定してください。（29ページ）

■ **設定したタイマーを解除（OFF）または再設定（ON）するときは ...**

[TIMER ON/OFF] を押す。

ボタンを押すたびにタイマー設定をON/OFFします。

- 電源をONにして設定してください。

ディスプレイの明るさを設定する (BACKLIGHT)

表示部の明るさを調節したり、本体のイルミネーションの点灯のしかたを設定します。

1 ディスプレイセットモードにする

[BACKLIGHT/CONTRAST] を押す。

2 "BACKLIGHT"を選択する

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し[ENTER]を押す。

3 バックライトを設定する

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し[ENTER]を押す。

BACKLIGHT: 1	表示部の照明とイルミネーションを点灯します。
▼▲	
BACKLIGHT: 2	表示部の照明を点灯、イルミネーションを消灯します。
▼▲	
BACKLIGHT: 3	表示部の照明を消灯、イルミネーションを点灯します。
▼▲	
BACKLIGHT: 4	表示部の照明とイルミネーションを消灯します。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットモードを終了します。

ディスプレイの表示濃度を調整する (CONTRAST)

表示部の表示濃度を調整します。

1 ディスプレイセットモードにする

[BACKLIGHT/CONTRAST] を押す。

2 "CONTRAST"を選択する

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し[ENTER]を押す。

3 表示濃度を調整する

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し[ENTER]を押す。

1 □	コントラストを強くします。
▼▲	
2 □□	
⋮	
5 □□□□□	コントラストを弱くします。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットモードを終了します。

省エネモードを設定する (A.P.S.)

A.P.S.と はAUTO POWER SAVE (オ ー ト パワーセーブ)の略で、電源がONでCDなどが停止状態のまま30分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源がOFFになる機能です。

1 タイマーセットモードにする

[TIMER SET] を押す。

2 "A.P.S."を選択する

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し[ENTER]を押す。

3 省エネモードを設定する

[マルチコントロール ◀/▶]で選択し[ENTER]を押す。

A.P.S.　ON　省エネモードを、ONします。

▼▲

A.P.S.　OFF　省エネモードを、OFFします。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットモードを終了します。

■ **A.P.S.がONのときは ...**

本体が以下の条件であるとき動作します。

- 音源にTUNER、iPod、D.AUDIO、AUXが選択されていて、音量が0(MIN)でボタン操作がない場合
- 音源にCD、USB、SDが選択されていて、CD、USB機器、SDが停止中でボタン操作がない場合
- A.P.S.が動作すると電源がOFFになる約1分前からディスプレイに"A.P.S."を点滅表示します。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		説　明
USB	USB フラッシュメモリー	・[•⊂ USB] 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
	USB マスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー	
SD	SD/ SDHCカード	・512MB ～ 32GB の SD/SDHC カードが使用できます。 ・miniSD/microSD カードは専用アダプターが必要です。 ・マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
	miniSD™ カード	
	micro SD/ SDHC カード	
CD	市販の CD	・コピーコントロール付き CD など、CD の規格に準拠していないディスクは再生できない場合があります。 ・書き込み時にファイナライズ処理をする必要があります。 ・CD-ROM、CD-R、CD-RW ディスクを記録した機器や記録状態、また使用している CD-ROM、CD-R、CD-RW の種類によっては本機で再生できない場合があります。
	CD-DA のフォーマットで記録した CD-R/CD-RW	
	MP3/WMA を記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW	

ディスクに書き込むときのご注意

- パケットライト方式やUDF（Universal Disc Format）方式で記録されたディスクは再生できません。
- ディスク書き込み時は、必ずセッションクローズまたはファイナライズしてください。セッションクローズまたはファイナライズしていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- 書き込みソフトの仕様によっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- マルチセッションディスクや、フォルダを多く含んでいるディスクを再生する場合、再生が始まるまで通常のディスクより時間がかかることがあります。
- 同一のディスクに、オーディオファイルとCD（CD-DAフォーマット）を書き込むと正しく再生できません。
- オーディオファイルをディスクに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、ファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込みが終わったら、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。
- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3, wma）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma)を付けないでください。拡張子については、「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。（34ページ）

知っておいていただきたいこと

再生できるオーディオファイル

本機は以下のオーディオファイルが記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、SD、USB機器を再生できます。

MP3ファイル

ファイルフォーマット：MPEG 1/2 Audio Layer 3
拡張子：.mp3
サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32/ 24/ 22.05/ 16/ 12/ 11.025/ 8 kHz
ビットレート：8 kbps ～ 320 kbps

WMAファイル

ファイルフォーマット：
Windows Media™ Audio準拠
拡張子：.wma
サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32 kHz
ビットレート：48 kbps ～ 192 kbps

- Windows Media™ Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
  - WMA Professional
  - WMA Lossless
  - WMA Voice

ディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1
ISO 9660 Level 2
Joliet

SD/USB対応ファイルシステム

FAT16
FAT32

ファイル数制限

最大フォルダ数：255
最大ファイル数：999

表示できる最大文字数

フォルダ名：9文字
ファイル名：30文字（拡張子含む）
タグ表示(タイトル/アーティスト/アルバム)：
MP3 ID3タグ/WMAコンテンツプロパティ：30文字
WMAアルバム名のみ14文字表示になります。
（ID3 v1.0/ 1.1/ 2.2/ 2.3/2.4 対応）

- 表示できない文字は正しく表示されないか、または" ー "が表示されます。

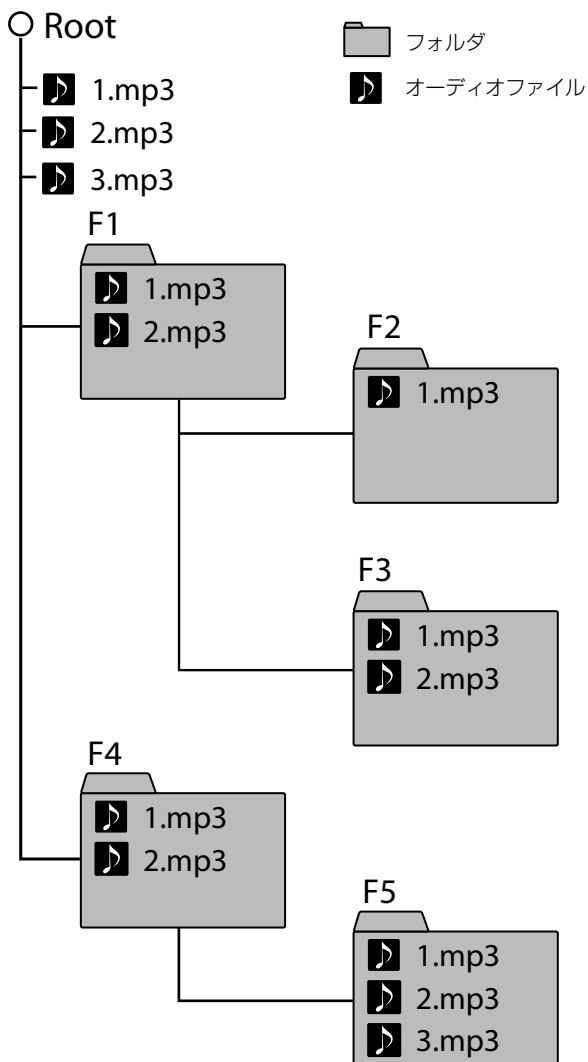
その他の注意事項

- 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate；可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。

その他の注意事項

- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3，wma）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3，wma）を付けないでください。拡張子については、「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。

フォルダやオーディオファイルの再生順について

オーディオファイルは、まず、Root（ルート）にあるものから再生されます。
次の図は、本機がフォルダやオーディオファイルを選択する順番を表したものです。
実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトにより異なることがあります。

■ 再生順

1曲目	1.mp3
2曲目	2.mp3
3曲目	3.mp3
4曲目	F1_1.mp3
5曲目	F1_2.mp3
6曲目	F2_1.mp3
7曲目	F3_1.mp3
8曲目	F3_2.mp3
9曲目	F4_1.mp3
10曲目	F4_2.mp3
11曲目	F5_1.mp3
12曲目	F5_2.mp3
13曲目	F5_3.mp3

知っておいていただきたいこと

CDの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 再生面にふれないように持ってください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）は使わないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。

本機で使用できるディスクについて

- CD、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CD-ROM/CD-R/CD-RWディスクについて

- レーベル面に印刷可能なCD-ROM、CD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
- 円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- 8cm CDアダプターは使用できません。

CDの保管について

- 長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDが汚れたときは

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

D.AUDIOの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。

使用できるD.AUDIOについて

- 本機またはリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをコントロールするには、別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）が必要です。

接続可能ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー

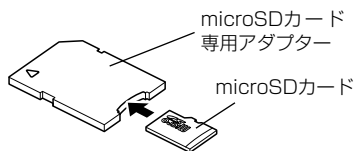
HDD オーディオ プレーヤー	メモリーオーディオ プレーヤー / レコーダー
HD60GD9	MGR-E8/MGR-A7
HD20GA7	MG-G508/MG-F516
HD30GA9	MG-F508/MG-F504
HD30GB9	MG-E502/MG-E504
HD10GB7	M2GD55/M2GD50
	M1GD55/M1GD50
	M1GB5/M512B5
	M1GC7/M2GC7
	M512C5

2010年12月現在

SDカードの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ず SD カードに付属の取扱説明書をご覧ください。

mini SD、micro SDカードについて

- 市販の専用アダプターに取り付けてから使用します。挿入方向はSDカードと同じです

メンテナンス

iPod/iPhoneの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずiPod/iPhoneに付属の取扱説明書をご覧ください。

使用できるiPod/iPhoneについて

- 本機に接続できるiPod/iPhoneは以下の通りです。
（2010年12月現在）

Made for
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod classic
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

USB機器の取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ず各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にUSB機器は付属していません。
- 本体前面部の**[•⇠USB]**端子はUSB2.0（Full speed）対応です。
- USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。

使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマスストレージクラス対応であること。使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。
- 最大消費電流が「500mA」以下であること。

上記以外のUSB機器を使用するとファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生しない場合があります。

免責事項について

- ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー /SDカード/USB機器/iPod/iPhoneの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行ってください。

❶USB機器などの外部機器を取り外し、ディスクを取り出します。

❷音源を"CD"にして**[►/II]**を押し、"NO DISC"がディスプレイに表示されるのを確認します。

❸数秒間待ち、電源をOFFにします。

❹その他外部機器が接続されている場合は、電源がOFFになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

メモリーバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は、保持されます。保持される内容は以下の設定です。

- 音源切り替え
- 音量の設定
- SOUND、D-BASS、EQの設定
- TIMER SETの設定内容
- チューナー設定

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置	参照ページ
音が出ない	・コードを正しく接続しなおす。 ・音量を上げる。 ・消音を解除する。 ・ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。	10 ～ 13 18 18 13
ヘッドホンから音が出ない	・ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 ・音量を上げる。 ・消音を解除する。	13 18 18
電源が OFF する	・省エネモード（A.P.S.）が ON に設定されている。 省エネモード（A.P.S.）を OFF にする。	32
時刻が表示されない	・時計を設定する。	29
タイマーが作動しない	・時計を設定する。 ・プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	29 30

チューナー部

症　状	処　置	参照ページ
放送局が受信できない	・アンテナを接続する。 ・受信バンド（受信モード）を合わせる。 ・受信したい放送局の周波数に合わせる。	11 24 24
雑音が入る	・外部アンテナを道路から離して設置する。 ・本機の周辺にある電気器具の電源を切ってみる。 ・テレビから離す。	—
プリセットコールができない	・もう一度、自動で放送局をメモリする。 ・受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	24 25

USB部

症　状	処　置	参照ページ
USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	・USB フラッシュメモリーを正しく差し込む。 ・USB ケーブルを正しく接続する。 ・USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	12

CD部

症　状	処　置	参照ページ
CD を入れても再生できない	• レーベル面を手前にして、正しく入れる。 • ディスクの汚れをふきとる。 • ディスク表面に付いた露を蒸発させる。	19 36 36
音声が出ない	• [►/II] を押す。 • ディスクの汚れをふきとる。	19 36
音とびがする	• オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 • 本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	34
再生できないオーディオファイルがある	• オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 • 本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	34
再生するまでに時間がかかる	• フォルダ数やファイル数が多いときは再生するまでに時間がかかる場合がある。	—
タグ情報が正しく表示されない	• 本機で表示できるタグ情報を確認する。	34

iPod/iPhone装着部/D.AUDIO端子に接続した機器

症　状	処　置	参照ページ
iPod/iPhone またはケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン / 本体で操作できない	• ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーのときは、専用接続ケーブル PNC-150（別売）で接続する。 • 対応モデルかどうか確認する。	12 36、37

リモコン部

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	• 新しい電池に交換する。 • 操作範囲内で操作する。	17

本機をリセットするには

症　状	ここをご確認ください・処置
本機が誤作動する（操作できない、表示部の誤表示など）	電源が ON のときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により本機が誤作動することがあります。次の手順に従い、本機をリセットしてください。リセットすると、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。 ❶ 本体の ⏻ **(電源)** を押してスタンバイモードにします。 ❷ 本体の [SOUND] を "FACTORY RESET" が表示されるまで押し続けます。"RESET FINISHED" と表示されたら、電源プラグをコンセントから抜きます。本機がリセットされます。 ❸ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

用語集

用　語	意　味
CD-DA	CD のこと。CD-DA ディスクは一般的に「CD」と呼ばれています。
MP3	独 Fraunhofer　IIS が開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、CD 並みの音質を保ったまま約 1/11（128kbps）に圧縮することができます。
PCM	正式名「Pulse　Code　Modulation」の略称です。音声などのアナログ信号をデジタルデータに変換する方式の一つ。CD(CD-DA) は PCM 方式を利用しており、サンプリング周波数は 44.1kHz です。
USB	パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機は USB 1.1、2.0 に対応しています。
USB ハブ	複数の USB 機器を同時に接続するためのアダプター。
USB マスストレージクラス	USB 機器をパソコンで制御するための規格。またパソコンに接続した USB 機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。
VBR（可変ビットレート）	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。
WMA	米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows　Media ™ Audio」の略称です。
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を 1 秒間に何回行うかを示す数値。CD の場合は 44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。
タグ (TAG) 情報	タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、オーディオファイルに書き込まれている情報です。
ビットレート	1 秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意　味 / 処　置
NO DISC	CD ディスクが入っていない。
NO iPod	iPod が接続されていない。
NO USB	USB 機器が接続されていない。USB 機器が接続できない。
NO SD	SD カードが挿入されていない。SD カードが検出できない。
NO DATA	再生できるファイルが無い。→ 再生できるオーディオファイルを確認する。
CHECK DISC	再生できるファイルが無い。→ 対応フォーマットを確認する。
NOT SUPPORT	USB 機器が接続できない。または SD カードが検出できない。

* NO USB/NO SD/NOT SUPPORTのメッセージが表示したときは、電源をOFFにしてUSB機器を接続しなおす、またはSDカードを入れなおしてから電源をONしてください。

保証とアフターサービス

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

技術料：

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代：

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

送　料：

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2010年12月現在

北海道			
札幌サービスセンター	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎ (011) 807-3003

東北			
仙台サービスセンター	〒984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	〒277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7171-3800
横浜サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
八王子サービスセンター	〒192-8525	東京都八王子市石川町2967-3	☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	〒950-0913	新潟市中央区鐙1-5-23	☎ (025) 245-2177
大田サービスセンター	〒146-0082	大田区池上2-8-10　プラムビル1F	
(修理持込専用窓口)	電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンターにて承ります。		

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〒420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-2935

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	〒761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	〒730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023

九州			
福岡サービスセンター	〒812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〒891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	〒901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

カスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960　　FAX 045-450-2287
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
土曜　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

定格

[アンプ部]

実用最大出力………… 20 W + 20 W（JEITA 8 Ω）
入力端子（感度／インピーダンス）
D.AUDIO/AUX入力 ………… 500 mV / 10 kΩ
出力端子（レベル／インピーダンス）
サブウーファープリアウト出力… 1.8 V / 10 kΩ

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲 ………… 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
アンテナインピーダンス ……………… 75 Ω不平衡
AMチューナー部
受信周波数範囲 ………… 531 kHz ～ 1,602 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式
………… 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター …………………………… 1 ビット
オーバーサンプリング…………… 8 fs (352.8 kHz)

[USB部]

対応USB機器 ……… USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス… USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32
供給電流………………………………… 最大500 mA

[SD部]

対応SDカード
…………SD/SDHC、miniSD、microSD/SDHCカード
mini SD/micro SDは専用アダプタが必要です。
マルチメディアカードMMCは使用できません。
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32

[電源部・その他]

付属ACアダプター
…………… DC18V（AC100 V、50 Hz/60 Hz）
定格消費電力（ACアダプターを含む） ………… 25 W
待機時消費電力………………………………… 1 W以下
最大外形寸法……………………………… 幅 190 mm
幅 約286 mm（iPod装着部取付時）
高さ 240 mm
高さ 約350 mm（CDドアオープン時）
奥行 142 mm
質量（重量）……………………………… 1.4 kg(正味)

[スピーカー部]

エンクロージャー……………………… バスレフ方式
スピーカー…………………………… 86 mm コーン型
インピーダンス……………………………………… 8 Ω
最大入力…………………………………………… 20 W
最大外形寸法…………………………… 幅 130 mm
高さ 238 mm
奥行 133 mm
質量（重量）…………………… 0.9 kg(1本/正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日～金曜日　**9:30 ～ 18:00**
土曜日　**9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30**
※ 日曜、祝日及び当社休日を除く

0570-010-114

※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-450-8960**
- FAX　**045-450-2287**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。
http://www.kenwood.co.jp/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。当社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
http://jp.my-kenwood.com

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3